



文責  
伊平屋村  
教育委員会  
松田 哲市



ICT研修で、  
教職員の授業力高める  
学習用端末を活用した授業づくりの推進

令和三年度、伊平屋村において文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」の取り組みに大きな成果があった。一人一台の学習用端末を有効活用した授業づくり研修会も名護市教育委員会よりICT支援員を招聘し、各学校で実施した。先生方も村内コロナ感染症拡大による学校休業(休校)中も児童生徒が学習用端末を持ち帰り、オンラインでの朝の会(健康観察)や授業を行う等、学びを止めない対応が見られた。今年度の成果として、AIドリルやデジタル教科書の導入、ICT研修会等の実施があった。特にAIドリルでは、学習記録(学習ログ)が残るため、自分の得意・不得意分野の把握や不得意分野を繰り返し学習する等の利点を生かし、児童生徒が意欲的に取り組む姿が見られた。次年度は、村内三校で、Googleアプリを活用した授業づくりを推進し、子ども達の「学びの質」をさらに高めていく。



「教職員向けのICT研修の様子」



「学習用端末を活用した授業の様子」



「AIドリルに取り組む児童」



「伊平屋中学校の離任職員と一緒に」



「伊平屋小学校の離任職員と一緒に」



「野甫小中学校の離任職員と一緒に」



「島発ち(別れの時)する先生方」



「伊礼智子さんと調理員の皆さん」

令和四年三月二十五日(金)に伊平屋村の子ども達のために尽力された教職員の「島発ち」があった。  
前泊港には多くの保護者や子ども達が集い、先生方との別れを惜しむ姿が見られた。給食センターの栄養士の伊礼智子さんも一年間の再雇用を終え、今年度で退職を迎える。

お世話になった先生方が島発ち

伊平屋の子ども達への尽力に心から感謝

栄養士として、活躍された【伊礼智子】さんに聞きました。

Q1「これまでを振り返って想うことは？」

長きにわたり地元で働くことができ、「食」を通して、子ども達と関わったことは、大きな財産です。

「おいしかった」「まずかった」「こげの味がした」等の声に励まされたり、落ち込んだりと……。しかし、食べる側の生の声がこの仕事を続ける原動力にもなりました。

Q2「栄養士として、心がけてきたことは？」

子ども達の「健やかな成長」、輝く笑顔のため、島の「味力」！島を「味輪う」！

Q3「最後に保護者や子ども達へメッセージをお願いします」

楽しく充実した38年間でした。子ども達の元気な姿にパワーをもらい、素直な心に励まされ、保護者の皆様のお力添えて無事に退職の日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。